



様式第4号（第7条関係）


令和2年1月8日

東かがわ市議会議長
橋本 守 様

東かがわ市議会議員
(会派・個人・その他)

氏名 久米 潤子 

行政視察等報告書

1	日 時	11月20日	
2	参加者	久米 潤子	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		琴浦町における 認知症対策事業視察研修	琴浦町社会福祉協議会 鳥取県琴浦町庁舎
		移住定住対応体制について	鳥取県琴浦町庁舎
4	研修・調査内容	認知症対策視察研修 詳細については別紙1のとおり	移住定住対応体制について 詳細については別紙2のとおり
			
5	研修成果	別紙3のとおり (感想・今後の取り組み等)	
6	費 用	30,040 円	

※領収書（交通費・宿泊費の明細がわかるもの）、研修資料を添付してください。

4 研修・調査内容

別紙 1

「琴浦町における認知症対策事業の取組み」

琴浦長の現状(2019年4月1日時点)

総人口	17,392 人
65 歳以上人口	6,186 人
高齢化率	35,57%
65 歳以上要介護認定者	1,010 人
65 歳以上要介護者率	16,3%
総世帯数	6,336 世帯
独居高齢者世帯	1,201 世帯
65 歳以上高齢者の木世帯	874 世帯
(2 人以上の世帯)	
介護保険料	6,000 円

本年 9 月、レグザムホール(県民ホール)で開催された香川県主催の「かがわ認知症シンポジウム」は、65 歳以上の男女でほぼ満席であった。会場の半数が男性参加者であったことは他の大会等では珍しく、認知症への関心の高さが伺えた。

「認知症への正しい理解と効果的な予防」と題して、鳥取大学医学部保健学科教授で、一般社団法人日本認知症予防学会理事長である浦上克哉氏をご講演された。

先進地事例として鳥取県琴浦町のタブレットを利用した認知症早期発見プログラムの取組みが紹介されたことから、認知症の早期発見・予防について現地視察を行った。

琴浦町は、健康で幸せに暮らす 4 本柱を、①運動、②栄養・口腔機能、③社会参加、④疾病の予防とし、本市でいう保健課と介護保険課を統合、子どもから大人までの健康を支える組織編制を行った。また、認知症対策事業の目的を、④認知症に対する偏見を取り除き、⑤正しい理解を促すための普及・啓発を行い、⑥住み慣れた地域で安心して暮らせる支援をすとしてしている。

今年度、初めて町民検診において 40 歳以上の町民すべてを対象に、タッチパネル式コンピューターで「もの忘れ相談プログラム検査」を 953 名に行った。15 点満点の 13 点以下の方に、更に詳しい「TDAS 検査」を行う。その後専門医による診察を受け、介護予防教室への参加推奨とハイリスク者に対し、専門医療機関への紹介状を公布している。介護予防教室は、週 1 回のクラスと、2 週に 1 回のクラスがある。手上げで町内の 3 事業所に委託しており、1 回につき、1 人に週 1 には、2,000 円、2 週に一度は 1500 円を支払う、出来高払いである。利用者は 1 割を負担している。

事業所のレベル保持のため月 1 回、町主体で 3 事業所合同で研修を行っている。6 か月ごとに、「TDAS 検査」を行い、10 点以上は専門医の診察につなげる。町職員だけでなく、3 台あるタッチパネル式コンピューターを事業所にも貸し出すことで、町職員の負担が軽減されるだけでなく、事業所に利用者の現状を知ってもらうことで、その後の対応が適切にできているようだ。平成 16 年から継続して教室に通い、重度化予防につながっている。週 1 クラスを見学したが、40 代の私より、脳が活発であった。

私も「もの忘れ相談プログラム検査」と、「TDAS 検査」を体験させて頂いた。

※2 つの検査は 1 台のタッチパネル式コンピューターに内蔵され、印刷機と 1 つのバッグに収まる。